

研修員's VOICE

Vol. 4

世界各国からJICA沖縄にやって来た
研修員を紹介しています。



ミッキーさん(左)とヨランダさん(右)

氏名: Ms. MARES Yolanda Neijen (ヨランダさん)
Ms. HEINE Mikela (ミッキーさん)

国名: マーシャル諸島共和国 

コース名: 島嶼観光持続性強化

滞在期間: 2017年6月28日～2017年8月19日

マーシャル諸島ってどんな国ですか？

ハワイとオーストラリア中間の北太平洋に位置し、29のサンゴ環礁と5つの島、そして親しみやすい人々で構成されています。島々が輪の形で並んでいることから「太平洋に浮かぶ真珠の首飾り」とも呼ばれています。1年を通して暖かい熱帯性気候で、美しいビーチやサンゴ礁を求めて観光客が集まります。

日本統治時代の名残で、マーシャルには今でも日本の名前を持った人や、ゾウリ(草履)、タタミ(畳)、サシミ(刺身)などの日本語が残っています。ちなみにミッキーさんの曾祖父も日本人だそうです。



マーシャルの美しい海と環礁の島



民泊(東村)での農業体験実習

どのような研修をしていますか？

研修では、自然環境と観光のバランスを取り、小さな島嶼国で持続可能な観光を強化する方法を学んでいます。マーシャルの観光産業はまだ始まったばかりで、私たちはそれぞれ政府観光局(ヨランダさん)と資源開発省(ミッキーさん)に所属していますが、観光客に提供できるものは何か、環境保護のために必要なことは何かということを考慮しながら、マーシャルの持続可能な観光への道を拡大させていきたいと思っています。

沖縄での滞在は怎么样了か？

多くの地を経由して沖縄に来るのは大変でしたが、マーシャルと似た雰囲気のある沖縄は第二の故郷のようで、素晴らしい7週間を過ごしました。

滞在中、浦添市のでだご祭りにエイサーの演舞で参加することができました。初めはリズムを取るのが難しく、踊りを覚えるのに苦労しましたが、踊りだけではなく、エイサーの重要性やそのユニークさも学びました。祭り当日は多くの沖縄の方とも触れ合い、とても良い経験ができました。



浦添市でだご祭り